

Please join 日本工学アカデミー中部支部！

日本工学アカデミー (EAJ: The Engineering Academy of Japan) は、「未来社会を工学する」(Engineering the Future)をスローガンに、人類の安寧と良き生存を叶えられる未来社会をデザインすることを理念とし、学術及び実務に携わる我が国を代表するエンジニアで構成される集団として 1987 年に設立された、世界各国の Engineering Academy の一員であります。



日本工学アカデミー中部支部は、東海地方と北陸地方にまたがる 8 県を圏域として 2016 年に設立されました。中部地域は、産学の 8 名のノーベル賞受賞者を輩出する高い学術水準と、自動車をはじめとする大小の企業は世界屈指の技術水準を誇っています。その中であって、エンジニアリングは推進力の中枢を担ってきました。

しかし、イノベーションの起きる分野は目まぐるしく移り変わり、世界のトップ産業は次々と変わっていきます。加えて、学術も産業も、低所得国の時代には自国の経済発展と所得向上が目標でしたが、高所得国となった今日では、地球規模での気候危機、感染爆発に対する予防・受容能力を高めることが社会のより高次の目標となり、それを実現する研究教育と産業が求められる時代となりました。

大学、企業、政府、社会には、SDGs、ESG 投資、そして、COVID-19 への真剣な対応が求められています。とりも直さず、今日だけではなく未来世代に対して、学界と産業界はエンジニアリングにより何ができ、何が残せるかが問われています。ここでは、製造業における製品 IT 化、検査不正に関わる倫理規範、さらには民意に基づいて COVID-19 の早期収束を達成した国々で見られたソーシャルキャピタルの蓄積などの重要課題も含まれます。

日本工学アカデミー中部支部は、一般公開の「EAJ 中部レクチャー」を中心に、Engineering the Future を思い描いて、大学・産業が先導すべき先端科学技術イノベーション(STI for SDGs)による人々の幸福(Well-being)増進と生態系・気候危機(Eco-system & Climate Emergency)回避を共に達成するための社会経済変革(Transformation of Society & Economy)について、個別の職場や学校では得られない分野横断的な情報と人的交流の場を提供しています。会員、非会員を問わず、join していただければと思います。

日本工学アカデミー
中部支部長
林 良嗣